



兵庫支部NEWS H24年 7月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Ta.078-792-6130)
ホームページ http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座:00980-2-245822
口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

第26回北九大同窓会兵庫支部総会・懇親会開催 参加者総勢41人が「パレス神戸」に集い旧交を温める



平成24年度北九州市立大学同窓会
兵庫支部総会・懇親会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 落合 | 二宮 | 平 | 津崎 | 西村 | 松尾 | 真島 | 出口 | 高山 | 町田 | 河野 | 森 | 伊藤 | 福永 | 大西 | 岡井 | 平間 | 松山 | 名越 | 藤田 |
| 太田 | 永翁 | 増田 | 大江 | 福原 | 西村 | 山田 | 御堂 | 桶田 | 安徳 | 大村 | 鷹野 | 早水 | 山本 | 大西 | 久芳 | 西 | 橋崎 | | |

女性出席者は過去最高の7名

平成24年度(第26回)兵庫支部総会・懇親会が、7月7日(土)午前11時からJR元町駅北のパレス神戸にて開催された。

前日の兵庫県西部の豪雨や仕事の都合で出席予定を取りやめた人もあり、出席者は、最近ではやや少ない来賓を含め総勢41名であった。(来賓・出席者3頁参照)

しかし、女性の出席者は本部からの田中美里さんを含めて過去最多の7名になった。「スマイル会」のメンバーの働き掛けが良かったようである。

総会は定刻をやや遅れて高山行雄幹事(45米英)の司会で始まり、二宮慶治郎幹事(38米英)の開会の辞、校歌斉唱、安徳信義支部長(44商)挨拶の後、本部から来賓としてご出席の早水弘明副会長(組織対策)が限られた時間の中、本部の活動状況について、透明で開かれた運営を目指し、会員名簿の充実化、また福岡県内13支部による「同窓の絆たすき」支部リレー・ウォークなどを熱く語られた。また大学の現況について配布された大学案内をもとに説明された。



議案審議に入り、藤田博保幹事(35商)が議長になり平成23年度支部活動報告や平成24年度活動計画、平成23年度収支決算報告等が各担当役員から報告された。

そして役員改選期に伴う役員会での次期支部長選任経過について山田紘昭幹事長(44商)から報告され、現安徳信義支部長(44商)の再任(2期目)が承認された。

部総会・懇



(安徳支部長)

安徳支部長は再任の挨拶で、総会パンフ巻頭に掲載の活動方針を発表し、支部運営協力金御協賛に対する御礼、「糺(かた)って語ろう兵庫支部」のスローガンを重ねて強調し、次期役員構成を発表した。

全員の記念写真を撮影し(閉会時プリントして渡された)太田裕之監査(HI院経済研)の司会で懇親会へと移行した。永翁正臣副支部長(41商)の開宴挨拶、来賓紹介の後大村実良相談役(33商)ご発声の乾杯で食事・

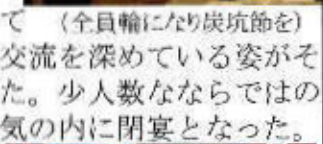


懇談の時間となる。皆さんが銘酩されないこと、プログラムにはないサプライズタイムが始まった。福原照世(44中国)さんの司会で、粋な着物姿の西村洋子さん(41米英)の指導の下、全員で輪になり炭坑節を練習(司会の福原さん)し、正調炭坑節を踊った後は、宇多田ヒカルのAutomaticへと曲は変わり、それに合わせて炭坑節の振りで踊って大いに盛り上がった。

踊りの後は皆さんリラックスしたのかそれぞれが友を求めて他の円卓へ移動して、懇親・交流を深めている姿がそこかしこに見られた。少人数ならではの気楽で楽しい雰囲気の中に閉宴となった。



二次会会場のカラオケひばりへタクシー分乗で25人が集まった。店主ひばりさんも「私は街の子」など数曲披露。初めてと思われる女性参加者4人は、永翁氏指揮で、「青い山脈」を唄い大いに楽しんだ。



7月は「三金会」と「役員会」併催

7月20日(金)午後6時於本館牡丹園

兵庫支部総会終了後の役員会を「三金会」7月例会と一緒に開催する、と山田幹事長から発表があった。

主な議題は①支部総会の反省②今後の活動(三金ゴルフ、歩こう会、忘年会等)について。

役員の皆様は、午後6時本館牡丹園にお集まり下さい。

兵庫支部月例会「三金会」6月例会



(安徳、川村、名越、大村、平間、松山、撮影) 兵庫支部月例会の「三金会」は毎月第3金曜日午後6時から、本館牡丹園、JR元町駅東側出口から南へ徒歩1分(広告参照)で開催されている。

6月の第3金曜日の参加者は7人でした。安徳信義(44商) 川村進(44米英) 名越英昭(37米英) 大村実良(33商) 平間正昭(37商) 松山 仁(44商) 二宮慶治郎(38米英)

「囲碁の会」

第19回リーグ戦は大岡8段が優勝

2月例会から始まった第19回リーグ戦は5月例会で終了し、大岡8段が7勝1敗で優勝し、優勝賞金を



(優勝賞金受領の大岡8段(左) ご参加お待ちしております。)

平間会長から手渡された。その他の成績は次の通り。

- 山本2段 5勝3敗
- 平間3段 4勝4敗
- 名越2級 3勝5敗
- 安徳4級 1勝7敗

毎月第3金曜日午後2時本館牡丹園3Fで開催。

The Alumni Association Hyogo Branch of The University of Kitakyushu



Alumnus are most welcome to



SHANTI

Shanti means Peace

INDIAN RESTAURANT SHANTI

JR-ASHIYA 5FL 0797-35-4807
Please access www.ethnic.co.jp

第37回三金ゴルフコンペご案内

9月26日(水)於フォーレスト三木GC

第37回三金ゴルフコンペの開催要領が松山会長からメール送信されてきた。

32回大会から関西支部との合同開催が続いていたが遠距離となる為今回は参加見合わせということで、兵庫支部単独の開催となる。

開催要領は下記のとおりとなる。

記

第37回三金ゴルフコンペ

開催日：平成24年9月26日(水)

場 所：フォーレスト三木ゴルフ倶楽部

673-0712

三木市細川町桃津字東山鬼谷571-143

Tel. 0794-82-4440 Fax. 0794-2-8411

担当：古川さん (篠崎さん)



山陽自動車道三木東ICで降り、出口右折して直進、あとは1本道でコースまで約5km

料金等：プレー費 5,980円 各自清算

(乗用カート、セルフ、昼食バイキング付)

参加会費 3,000円 懇親会会場にて徴収
表彰式・懇談会 費用別途

競技方式：ダブルペリア

スタート：08：22～INコースより 計5組20名

ルール説明、オネストジョン申告、集合記念写真撮影のため、8時までに集合。

懇談会：クラブレストランにて、表彰式・懇談会

表 彰：優勝、準優勝及び3位

ベスグロ、ドラゴン、ニアピン、メーカー等
前回と同じ

連絡先：松山 仁(44商) 三金ゴルフ会長

Tel. 090-3286-2979(携帯)

Tel. 078-232-1877(会社)

Tel. 078-791-3327(自宅)

E-mail: j.matsuyama@viking-kobe.co.jp

平成24年度(第26回1)兵庫支部総会・懇親会出席者

来賓 早水弘明 (39商) 本部副会長 (組織対策)
 田中美里 (H12経済) 本部幹事 (広報・情報)
 大西正直 (39商) 関西支部副支部長
 御堂隆輝 (47経済) 関西支部幹事長
 吉元 勝 (42商) 関西支部副幹事長
 大江一正 (45国文) 関西支部副幹事長

出席者 大村実良 (33商) 鷹野哲雄 (33商)
 藤田博保 (35商) 伊藤 互 (35商)
 河野旺生 (35商) 名越英昭 (37米英)
 山本信司 (37米英) 平間正昭 (37商)
 二宮慶治郎 (38米英) 平 雅文 (38商)
 橋田喜恵 (40米英) 増田照美 (40米英)
 西村洋子 (41米英) 西村勝弘 (41中国)
 永翁正臣 (41商) 出口耕三 (44米英)
 福原照世 (44中国) 久芳健二 (44中国)
 安德信義 (44商) 山田紘昭 (44商)
 松山 仁 (44商) 福永憲彦 (44経営)
 高山行雄 (45米英) 津崎久雄 (45経済)
 松尾祐嗣 (45経営) 大西 敏 (46国文)
 森 護 (47米英) 高橋義則 (48経営)
 真島秀幸 (48経営) 橋崎栄子 (50国文)
 西 直子 (52国文) 町田実徳 (53米英)
 落合二郎 (54米英) 岡井英勝 (54経営)
 太田裕之 (H1院経営研)

兵庫支部運営協力金御協賛御礼

兵庫支部運営協力金を戴くようになって3年目を迎え、毎年増加を続けており、今年度の協力金累計は7月6日現在59名92,000円となっています。厚く御礼申し上げますと同時に、支部活動に今迄以上有意義に使わせて頂き、難題に取り組んで行く決意を新たにしているところです。

安德信義兵庫支部長 (総会パンフより)

当編集室では、支部総会関連記事掲載紙をご協賛者のうち未購読の方々にお礼の意味を込めて送付しますのでご笑覧下さい。

支部運営協力金御協賛者 (順不同・敬称略・6月号掲載分再録)

赤松初夫 (40米英) 中西秀直 (50経営) 江藤幸嗣 (50国文)
 江藤洋子 (50米英) 村上勝幸 (37商) 大村俊美 (42米英)
 安德信義 (44商) 秋山 敏 (H5経営) 奥本 進 (39商)
 川野芳美 (24米英) 井上信之 (25米英) 橋崎栄子 (50国文)
 杉山剛太 (34商) 上田 進 (48経営) 湯ノ谷宏之 (39商)
 森 護 (47米英) 澤田英憲 (44経営) 大神直也 (56法律)
 太田裕之 (H1院経営) 平山元紹 (47経営) 大賀房江 (61英文)
 岩見栄治 (62法律) 後藤公一 (38商) 新海正尚 (36商)
 大野光男 (33商) 小村弘一 (45経営) 山中道子 (24米英)
 町田実徳 (53米英) 瀬川孝博 (54経営) 浅野康平 (37中国)
 岸 容子 (46国文) 大神正晴 (48経営) 野田敏郎 (37商)
 名越英昭 (37米英) 中村明人 (41商) 河野旺生 (36商)
 河内山俊男 (32米英) 鷹野哲雄 (33商) 八木謙悟 (48経済)
 馬場 清 (31米英) 中尾清光 (44経営) 名倉勝征 (41米英)
 八木正博 (57政治) 渡辺匡徳 (37中国) 前原賢作 (40商)
 堀江淳之 (32米英) 牛丸敬孝 (51中国) 西村勝弘 (41中国)
 西村洋子 (41米英) 石田 匠 (43米英) 三宅祥太 (40商)
 橋田喜恵 (40米英) 藤澤 一範 (38中国) 川寄 豊 (55経営)
 渡部五十三 (43商) 永翁正臣 (41商) 山岡明彦 (57経営)
 寺西玄一 (H22院社会シ) 三宅隆志 (59中国)

北九州市立大学同窓会兵庫支部

平成23年度収支決算報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日

一般会計

収入の部	前期繰越金	-9,861
	平成23年度支部総会会費	330,000
	忘年会会費	105,000
	本部助成金 支部総会	52,000
	本部助成金 支部事務費	40,000
	本部助成金 名簿整備費	20,000
	支部運営協力金、49名	84,500
	銀行利息	5

収入合計 621,644

支出の部	平成23年度総会懇親会費用	378,555
	忘年会費用	104,967
	交際費	74,600
	関西支部総会参加会費3名分	24,000
	本部総会チケット2枚	10,000
	本部総会参加旅費1名分	25,600
	本部総会パンフ広告出稿料	15,000
	支援金 (スマレ会)	12,500
	事務費	7,220
	役員会会議費	9,645
	次期繰越金	34,157

支出合計 621,644

兵庫支部NEWS会計

収入の部	前期繰越金	119,461
	(現金¥14,759、郵便振替口座¥104,702)	
	購読料	108,000
	(定期購読者72名、神姫3名中止5名)	
	広告料	6,000

収入合計 233,461

支出の部	作成費	58,388
	(コピー代金、用紙代)	
	郵送費	49,650
	(郵便書簡および切手)	
	文房具費	2,130
	(宛名ラベル、封筒)	
	手数料	6,840
	(郵便振替手数料等)	
	購読料(購読中止清算金)	750
	繰越金	115,700
	(現金¥11841、郵便振替口座¥103,862)	

支出合計 233,461

以上相違ない事を報告いたします。

平成24年7月7日

北九州市立大学同窓会兵庫支部

支部長 安德信義◎

会計 松山 仁◎

兵庫支部NEWS発行責任者 名越英昭◎

支部規約第8条に基づき会計監査を実施いたしました結果収支とも適正に処理されている事を認めます。

平成24年5月13日

北九州市立大学同窓会兵庫支部

会計監査 河野旺生◎

会計監査 平間正昭◎

平成24年度北九州市立大学同窓会兵庫支部役員名簿

特別寄稿

平成24年7月7日就任

支部長	安徳 信義 (44商)
副支部長	永翁 正臣 (41商)
副支部長兼会計	松山 仁 (44商) 三金ゴルフ会長
幹事長	山田 紘昭 (44商)
幹事	河野 旺生 (36商)
幹事	二宮 慶治郎 (38米英) 歩こう会会長、広報・情報担当
幹事	西村 洋子 (41米英) スミレ会代表
幹事	浜田 勝義 (44米英) 事務局
幹事	高山 行雄 (45米英) 総会・忘年会担当
幹事	小野 成彦 (50経営) 事務局
幹事	三宅 隆志 (59中国) 組織担当
幹事	安倍 高之 (H1英米) 組織担当
幹事	佐藤 研二 (H8法律) 組織担当
幹事	牛丸 敬孝 (51中国) 休部扱い
事務局長	山田 紘昭 (44商)
評議員	安徳 信義 (44商)
相談役	大村 実良 (33商)
相談役	名越 英昭 (37米英)

「兵庫支部NEWS」編集長

総会パンフ掲載の支部長挨拶要旨

昨年女性の会「スミレ会」の活動をスタートさせたいと述べたが、西村代表、福原氏、橋崎氏等の御尽力により準備が出来、本部の重田さんの意見を賜り、今年度初めに第1回総会が三宮で開催され正式に「スミレ会」が発足した。

母校の女子学生の比率は過半数に上り卒業式総代も9割が女性であったという。スミレの花言葉は謙虚・誠実・慎み深さだが、他方道端のブロックの隙間から咲く根性も持ち合わせている。この総会に7名の女性が参加され新たな歴史が刻まれた。これからの支部運営に女性の協力なしには存続しない。さらなる各種の活動への参加を願う。

田村同窓会会長は「同窓会の絆は社会の保水力である」旨の発言されている。福岡県下13支部の連携による「同窓会の絆たすき」支部リレー・ウォークは、500余名の参加で成功裡に完結した。当支部でも、関西支部との絆は順調に推移し、ゴルフクラブや囲碁クラブが交流し、この総会にも関西支部から6名が参加されており感謝している。

兵庫支部が途切れることなく次世代にバトンを渡せるよう全役員で努力する。糺(かたって)語ろう兵庫支部。これらの大方針は2年前に支部長を拝命してから変わっていない。今回の総会にはイベントを用意せず全参加者がぐじ引きでランダムに着席し、未知なる出会いを満喫して大いに語り合う事にした。

最後になったが支部運営協力金も3年目を迎え、毎年増加を続けご協力厚く御礼申し上げますと同時に今まで以上に有意義に使い難題に取り組む。

本日をもって退任される藤田氏、中村氏、福永氏、澤田氏4名の方々ご苦労様でした。

役員補充のため役員として手伝って頂ける方がありましたらよろしくお願ひします。

「二都物語」港町コーベ・ヨコハマ

横浜市在住 小島吉晴(40米英)



(小島吉晴氏)

エーゲ海クルーズの折のこと 毎食気儘にテーブルに着席、隣り合わせに色んな国籍、人種の人が座った。ほとんど欧米人だったが会釈して後はひたすらモグモグ、ムシャムシャでは芸もなく、若干お喋りも楽しんだ。

東日本大震災の直後で日本への関心度は高かった。だが、普通の外国人が知る日本の都市は、トウキョウ、ヨコハマ、コーベ(Kobe=コーブと発音する者も多い)くらいだった。神戸や横浜が定期航路の出船入船の波止場としてその名を馳せた時代の名残だろう。

神戸にポートタワー、異人館、南京街。横浜にもマリントワー、外人館、中華街と異国情緒が似通っている。ただし、坂道は六甲を背の神戸の方が名も付けられない程多く急峻でもある。横浜港の背後は、野毛山などの丘陵地帯で、紅葉坂とか掃部(かもん)坂とかその数もしれている。

横浜の興りは、やっと幕末の外人居留地に始まる。それまでは漁夫の苦屋のうら寂しい「横っちょの浜」だった。相模の野道に鶴見村、生麦村の牧歌的な風景が広がり、神奈川の保土ヶ谷に小さな宿場があった。一方、神戸は記紀の世から古地名の伝承があり、景勝地の須磨など古くから拓けた土地だった。いつかは都になった福原の地であり、平家物語の福原落ちの段は名文で、琵琶の語り弾きで聴いたら涙なしではいられない。

横浜のシンボルは「赤い靴の女の子」と言えよう。野口雨情作詞の童謡で全国に有名であり、女の子の像は山下公園の港と横浜駅構内にあり人気スポットとなっている。♪赤い靴はいたた女の子…、波止場から異人さんにつれられて外国へ行ったというのは作り話である。モデルは「岩崎きみ」という名の北海道開拓民の子、親が暮らしの苦難に耐え切れず、米人宣教師に身柄を預けた。東京麻布の孤児院に入れられて、持病の結核のため明治44年9月に9才で亡くなった。麻布には「岩崎きみの少女像」があるが、実在の薄侍の少女と、虚構の異人さんとアメリカへ渡った幸薄い赤い靴の少女が相和して、今も人々の心を惹きつけてやまない。

神戸には、シンボルの坂道を題材の詩があります。まっすぐ歩いていても、いつのまにかのぼっていくのです。くだっていくのです。いつのまにか、さっきの街を見おろしているのです。見あげているのです。(安永稔和の詩「道」より)

何かのご縁で、三金会の皆様と交流できて嬉しいです。早速、港町同士を対比してみました。

(ペンネーム 桜田 靖)

筆者紹介：昭和30年代の北九大生の青春残像を描いた「幻の川」が北九州市主催自分史文学賞に佳作入賞し西日本新聞社から発刊され、本紙81号で紹介。今年5月京都への取材旅行の際神戸を訪れ「三金会」に出席し兵庫支部会員との親睦の場を持った。

平成24年度北九大同窓会関西支部総会・懇親会 近藤倫明学長を迎え、総勢58人が集う



平成24年度の関西支部総会・懇親会が開催され、安徳兵庫支部長、松山副支部長兼会計、山田幹事長とともに編集子も出席させていただいた。

6月17日(日)新大阪ワシントンホテルプラザにおいて、午前11時から、大学から近藤倫明学長、本部から奥村英行幹事長(46国文)柳喜久子幹事(48英文)、及び有松敏幸和歌山支部長(36米英)等を来賓として迎えて、総勢58人の大盛況となった。

大道久美子支部長(45英文)の歓迎の挨拶の後、奥村幹事長が同窓会本部の(大道支部長) 現状、同窓の絆たすきリレー等について話された。活動報告、収支決算、活動計画、収支予算等の審議の後、近藤学長により「大学の地域貢献」についてスライドを使って、大学の歴史からはじまり



国際環境工学部について、地域創生学群の設置や地域共生教育センターやその活動事例など詳細に亘る講演が行われた。

懇親会では、“アンサンブルSUMI”によるリコーダー演奏があり、インドでボランティア活動を続ける高森千賀子さん(44米英)などの話があった。

終了後は、同ホテルのカラオケルームでの二次会となり30人ばかりが集まって、カラオケを楽しんだ。

(写真左)



(スライドを使って説明の学長)



中学校の英語の教科書に載った感動する話

浜田勝義(44米英)

今年度から中学校の教科書が変わり、内容が新しくなったが、その中に人の心を打つ話があるので紹介したい。

中学校英語教科書New Crown 3年(三省堂)P100にリーディング教材として A Moment of Peace というのが載っている。

第一次世界大戦(1914~1918)でイギリスとドイツが激しい戦闘を繰り広げている最中のことである。

12月24日の午後ドイツ兵たちが木を飾った。戦場もクリスマスイブであった。ドイツ人は“Silent Night”(「きよしこの夜」)を歌い始めた。ドイツ人が歌い終わった時、イギリス人は“Home, Sweet Home”(「植生の宿」)を歌った。その夜二つの軍隊は暗やみになるまで歌をかわし合った。次の日はクリスマスであった。一人のドイツ兵が「クリスマスおめでとう」と叫ぶと、イギリス兵も「クリスマスおめでとう」と返した。

その夜両軍の兵士は、ソーセージを食べたり、ワインを飲んだりしてクリスマスを祝った。彼らは飲みものと食べものを分け合った。多くの話すと笑いがあった。それからフットボールのゲームが始まり、長い間続いた。

楽しい時はたちまち過ぎた。太陽が沈み、星が出

だれもがそれは終わったと分った。次の日両軍は再び敵になった。前日の友人はお互いに銃を撃ち合いそして殺し合った。多くの者が負傷し、多くの者が死んでいった。

この話は、どこの公式記録にも載っていない。兵士たちによって語り伝えられたという。私たちはこの話のなかに、戦争を越えた人間性を見出すことができる。ちなみに、中学校の英語の教科書は環境、人権、平和そして文化などを題材にしたものが多い。

それはいずれもグローバル社会の課題になっているためだろう。

投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています

旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料:1/10頁、1回500円

お申し込みは6回分3,000円で御願います

「歩こう会」6月例会

3年ぶりの「灘の酒蔵巡り」
兵庫支部の酒好き8名が試飲を堪能

今回で5回目となる「灘の酒蔵巡り」は、平成21年6月以来3年ぶりの開催である。

6月10日午前10時阪神魚崎駅に集合したのは、男性ばかりの8名。女性参加者なしは今回がはじめてである。

参加者は二宮、安徳、伊藤、平、名越、久芳、平間、山田の8名。



(案内図の前で打ち合せ)

5回目となると凡そのコースは頭に入っているが、駅前の案内図の前で打ち合せコース確認して出発する。それでも南下する道に入るのが1本東寄りになってしまった。



最初に訪れたのは櫻正宗の櫻宴だ。(写真左)この入口の前で26名が参加した第1回(10年前)の記念写真が二宮会長配布の本日の参加者名簿にプリントされている。

早速試飲コーナーで味見するが支部長は小ビン1本購入してメンバーに提供。早くも良いが廻りそう。

次は浜福鶴吟醸工房だ。櫻宴から徒歩で5分。ここでも支部長の振る舞い酒の恩恵に与り腰を据えて試飲を楽しむ。二ヶ所まわっただけでほぼほろ酔い加減となつて、次の目的地菊正宗



(試飲を楽しむ3人)

酒造記念館へ向かう足取りもゆっくリズムとなる。



入館受付で二宮会長が代表して名簿に記入後ガイドさんの当館概要の説明がある。1659年徳川4代将軍家綱時代の創業。数多くの重文指定の「灘の酒造用具」が展示

されている由。一通り説明を聞いてから、先ず展示品を見学した後試飲コーナーへと向かう。館内に「灘五郷」の説明板がある。あらためておさらいすると、東から、今津郷(1社)西宮郷(13社)魚崎郷(7社)御影郷(7社)西郷(6社)を総称して「灘五郷」と称するのである。



(重文の酒造用具類)

試飲コーナーで2杯3杯と杯を重ね、館内をさらに探索していると団体客用の映像・展示コーナーがあり、



周囲の壁には昔懐かしい美人画のポスターが所狭しと飾られていた。昭和初期の頃?いや終戦直後の幼き頃に見た様な、そんなポスターに郷愁を覚えて、カメラに収めたのが左の写真である。

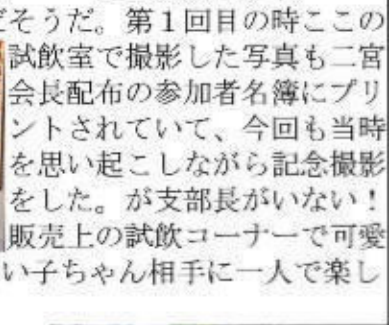
菊正宗の後は白鶴酒造資料館である。1743年村木屋治兵衛により創業され、7代目社長嘉納治兵衛が設立の白鶴美術館も良く知られている。あの灘中高校も白鶴(白嘉納家)と菊正宗(本嘉納家)と櫻正宗(山邑家)の篤志をもって設立されたのだそうだ。第1回目の時この試飲室で撮影した写真も二宮会長配布の参加者名簿にプリントされていて、今回も時を思い起こしながら記念撮影をした。が支部長がいない!販売上の試飲コーナーで可愛



(白鶴試飲室にて)

(支部長は一人で楽しんで) い子ちゃん相手に一人で楽しんでいた。

次の目的地までやや距離があり、道中には往古の灘の酒蔵の絵図などがあり、学習しながら「神戸酒心館」へとやってきた。1751年創業で福寿の醸造元である。



(往古の灘の酒蔵の様子を見る)

館内を一渡り見学した後、お昼も大分回っているので同館の施設の一つ“蔵の料亭「さかばやし」”で昼食をとる。



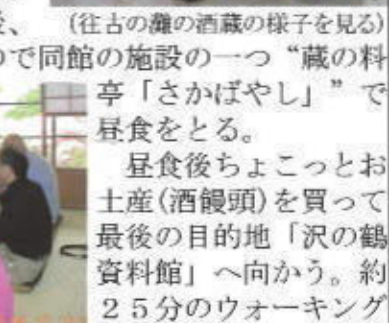
昼食後ちょこっとお土産(酒饅頭)を買って最後の目的地「沢の鶴資料館」へ向かう。約25分のウォーキングである。

沢の鶴は1717年大阪平野の米屋喜兵衛が米屋を営みながら副業で酒を造り始めたのだそうだ。館内の展示品は県重文である。第1回目と同様に資料館入口で記念写真を撮る。(写真右)



(蔵の料亭「さかばやし」で昼食)

館内見学を約20分で済ませて帰路につく。阪神大石駅まで約10分で午後3時前に到着した。



阪神大石駅まで約10分で午後3時前に到着した。



「三金会」「囲碁の会」会場ご案内
本館牡丹園

神戸市中央区元町通1丁目11-20

電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020

JR元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩1

「三金会」

毎月第三金曜日午後6時~

会費:3,500円(男性)

2,000円(女性)

「囲碁の会」

毎月第三金曜日午後3時~

参加費:無料、ドリンク/500円

